



## 580人児童全員の母なる気持ちで 子育て経験を生かした学校づくりを

湘南学園小学校 校長・理事  
河本洋子さん



1962年静岡県生まれ。同校中高の体育教諭を経て小学校に着任し25年。「国際化時代を生きるには、日本の良さを知ることから」と、10年かけ日本全国の伝承舞踊を学習しつつ「たいいく表現まつり」を考案。日々様子は、就任以降書きつづるHPのブログ「校長日記」を参照して。

毎朝、登校時の見守りに教頭時代から立つ湘南学園小学校の校長・理事の河本洋子さん。4月に就任、創立83年、初の女性校長です。

「580人全員の学園小学生が安心して学校に来られるよう守ります。わが子同様に接する気持ちで校長にのり強まりました」と話す河本さん自身も、働きながら2人の女の子を育ててきました。「何回かムリと思ったことも…。子育てを通じて無駄なものは何一つなく、私の経験を今返し

ていきたい」。実践派らしく思いを次々と形に。愛娘が学童になじめず放課後対策に悩んだ思いから「アフタースクール」を発案。預かり機能に一流アスリートらの豪華講師陣によるプロクラムを備えました。母親が病気になる、コンビ二弁当の教え子を見て3年前の「カフエテリア」開設に尽力。保護者らが厨房に立ち子どもたちにできたの食を提供中です。さらに鶴沼海岸に近い立地条件から「災害に強い学校」を意識し防災教育

に情熱を注いでいます。学校建築の第一人者長澤悟さんによる基本設計の校舎は鶴沼地区唯一の高所として避難場所。

「湘南学園だけが助かるのではなく、私学全体で防災教育を考える必要がある」と群馬大学の片田敏孝教授を招き、関東地区36校の私立小学校教員対象の研修会を主催。「自分で自分の身を守る鉄則を徹底したい」。

同校は、親と教師が協同で学校運営を行う私立小学校。ゆえ「親の思いが通じる場でもありません。小学校6年間は、人生における一番の基礎をはぐむとき。体制を整えることで子どもたちが安心して学校に通え、親は生き生きと働けるようになる。楽しい居場所が作れるよう全力を注ぎます」と笑顔で誓ってくれました。(峯松七七子)